

実施計画書

1 企画テーマ

デジタルポートフォリオ評価の実践とそれに連続したデジタルコンテンツ作成

2 実施計画書

(1) 対象

竹園東中学校全生徒，総合的な学習，特別活動

(2) 準備について

生徒が利用できるコンピュータ環境整備（校内LAN）

- ・ コンピュータ室42台・図書室9台のコンピュータの設定
- ・ 各教室へのLAN拡張
- ・ 体育館へのLAN拡張
- ・ 生徒用LANと教師用LANのセキュリティの問題の解決

生徒用情報学習ツール「スタディノート」の利用環境整備

利用規程の見直しと生徒への指導（情報モラルの問題）

(3) 実践する内容

学 年	教科・領域等	テ ー マ
第1学年	総合的な学習の時間	花室川を追究しよう
第2学年	総合的な学習の時間	英語で，日本文化を伝えよう
第3学年	特別活動	自分の進路を決定しよう

第1学年の内容について - テーマ「花室川を追究しよう」 -

花室川は，学園都市が造られたときに雨水対策として，人工的に創られた川であるが，30年あまりがたち，現在は自然豊かな川となっている。

また，花室川の周辺は，古代の遺跡が多いことや，農業廃水，生活排水などが流れ込む川で生活との結びつきが強いことなどから，多くの研究テーマが出される題材である。

第1学年では，自分のテーマに従って追究するその過程を，デジタルデータとしてポートフォリオとしてまとめ，生徒は自己評価に，教師は評価や支援・指導の改

善に役立てていく。

そして、ポートフォリオに活用したデータを、分類し、コンテンツとして構築していくものである。

第2学年の内容 - 英語で日本文化を伝えよう -

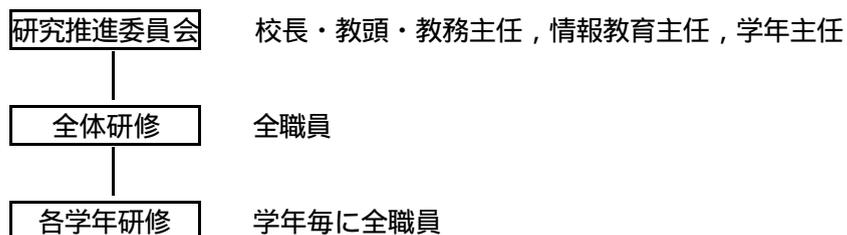
本校の位置する研究学園都市には、外国人が非常に多い。その外国人には、日本文化が正しく伝わらず、その方たちが困惑することが非常に多いと聞いている。そこで、日本の文化に対する疑問点やもっと知りたい点を地域ネットワークを通じて、質問していただき、その質問に英語で答えていくという活動を進める。この活動を通じて、英語を使ったコミュニケーション能力、国際理解を進めながら、自国文化を見直し、尊重する人間を育てようとするものである。この過程も第1学年と同じ手法により、ポートフォリオ評価、そして、コンテンツ化と進めていく。

第3学年の内容 - 自分の進路を考えよう -

職業調べ、職場体験、高校調べ、進路の学習の足跡等をデジタルデータとして積み重ね、残していく。それが、自分の進路に対する意識や考え・進路先の変遷の確認となり、常に自分自身を振り返りながら、最終的な高校の進路決定に向けていく。そのデータの中で、共有できるものは、コンテンツとして構築していく。

(4) 実施体制

- ・ 校内の研究の重点の一つが情報教育であり、情報教育研究部員を決めているが、本研究は全職員で行うことになる。



(5) 実施スケジュール

5月

- ・ 各学年で、総合的な学習のシナリオを作り、コンピュータをどのように活用し、ポートフォリオをどう作成するのか、計画を作成する。
- ・ 各学年で進路学習の年間指導計画を見直し、コンピュータの活用の計画、ポートフォリオの計画を作成する。

6月～7月

- ・ デジタルポートフォリオの試行をする。

8月

- ・ 試行したデジタルポートフォリオの内容を評価し，9月から作成する場合の留意点・指導のポイント等をまとめる。
- ・ 教師で，デジタルポートフォリオのデータをW e bデータに変換する技術を習得する。

9月～12月

- ・ 実践活動を行う。

11月28日(水)

総務省・文部科学省指定「先進的教育用ネットワークモデル地域事業」

つくば市研究発表会を開催予定

本校も授業を公開する。

1，2月

- ・ 生徒が作成したポートフォリオの中から，有効な情報をW e bデータに変換し，ホームページに掲載する。
- ・ ポートフォリオ評価実践を振り返り，その在り方をまとめる。
- ・ 何校かの生徒や，地域の人々にアンケートを実施し，デジタルコンテンツの評価を行い，今後の留意点をまとめる。

(6) 実施環境

- ・ D S L回線接続による1.5Mbpsのインターネット
- ・ コンピュータ室に40台，図書室に9台のコンピュータ
- ・ スタディノート(シャープ社製)

(7) 評価内容

- ・ 生徒のポートフォリオを評価し，ポートフォリオとして重要な点や，有効な教師の支援の在り方を明らかにする。
- ・ できあがったコンテンツの評価を学校外の人達からしていただき，コンテンツ作成の留意点をまとめる。